

2021年 1月 17日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会

②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱

②松岡 清枝姉

賛 美

聖歌232番 ~主の臨在の御前で~

使徒信条

聖書朗読

ペテロの第二の手紙3章8~13節

特別賛美

西田姉・宮川姉

メッセージ

「主の救いの計画は成し遂げられる」

石井 潤 牧師

聖 餐 式

賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金

聖歌229番 ~アメイジング・グレイス~

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

★礼拝の恵みを感謝します!今週も守られますように!午後は執事会を行います。

☆今週の祈り会は ○早天祈禱会:明朝6時~、◎祈禱会:木曜午前10時半~、
夜7時半~(大和教会の祈禱会に参加)。○準備祈禱会:土曜夜8時~。

★来週の日曜礼拝も4回行います。①8時半②10時半③13時半④19時

☆一年に一回聖書を完読できる! *Bible Reading Plan* [1/17-/24]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	創 36-37	38-40	41	42-43	44-45	46-47	48-50	出工 1-3
新約	マタ 12:1-28	:29-50	13:1-30	:31-58	14	15:1-20	:21-39	16
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇

「主の救いの計画は成し遂げられる」

～主に従う者に与えられる本当の平安～

「しかし、主は盗人のように突然来られる。その時には、天も地も、跡形も無くなってしまふ。このように、この天地はみな跡形も無く、崩れ去ってしまうのだから、主が再び来られるのを熱心に待ち望んでいるあなたがたは、極力、聖い神信仰に励んでいなければならない。その時には、すべては跡形も無くなってしまふのである。しかし、私たちクリスチャンは、神の約束通り、すばらしい新天地に住むことができることを待ち望んでいる。」

ペテロの第二の手紙3章10～13節 [現代訳]

ペテロのこの時代には、偽教師たちがいて、クリスチャンたちを大いに惑わしていたようです。彼らは宗教臭くないキリスト教を伝えて、さも魅力的であるようにして惑わし、彼らをイエス・キリストにある真の信仰から引き離そうとしました。現代の私たちも陥りやすい方法であるように思います。ともすると、私たちも、“キリスト教は宗教ではない、私たちは解放されて自由なのだから、神様に委ねて、楽に生きることの方が真のキリストに生きる道だ”と勘違いしてしまっている部分が多分にあると感じました。この惑わしは、本当に恐ろしいものです。もちろん、肉的にかんじがらめにして、宗教宗教させることは良くないことですが、かといって、自分本位になって、「放縦」に身を委ねてしまうことは主の御心ではない。この第二ペテロでは2章全部と3章の一部を使ってまで、この偽教師の惑わしに対する注意を語るということはそれだけ、大変な問題であったからだと考えられます。これは私たちの時代でも、熱心であればあるほど、それに対する反発というものが生まれて、真逆の方向に行きかねないことでもあります。

何が真理であって、どのメッセージをしっかりと握らなければならないかということをつかんでいなければ私たちはすぐに惑わされてしまう存在です。

マタイ11章で「なぜなら、ヨハネがきて、食べることも、飲むこともしないと、あれは悪霊につかわれているのだ、と言い、また人の子(イエス様)がきて、食べたり飲んだりしていると、見よ、あれは食をむさぼる者、大酒を飲む者、また、取税人、罪人の仲間だ、と言う。しかし、知恵の正しいことは、その働きが証明する。〔18・19〕」と書かれています。私たちはいつまでも「迷える小羊」です。謙虚に羊飼いに従うことなしに、正しい道へ進むことはできません。続いて「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。〔11:28〕」と主は私たちを招いておられます。この重荷、苦労とは何のことを言っているのかと考えてみました。注解書によると、それは、律法主義による重荷である。そこから解放し、安息を与えるのは、本当の父を知るイエス様だけ。律法は人を正しい道へと導くためのものであったにも関わらず、人がそれを悪用し、単なる重荷としてしまった。だからといって、律法を捨てたなら、「放縦」のみが待っている。だからこそ、真実の主を羊飼いとして父なる神様のもとへと導いていただくことこそが真の救いの道であるということを教えているのです！